

令和4年度 田無公民館主催事業報告書

NO	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	障害者学級 あめんぼ青年教室	令和4年4月から 令和5年3月 第1土曜日 14時から16時 第4日曜日 10時から12時 14時から16時 全37回	学級生34人 ボランティア スタッフ 18人 活動支援員 4人	知的に障害のある人を対象に社会参加の場を提供し、音楽、ダンス、創作活動など様々な学級活動を通して社会性・自主性を養う。ボランティアスタッフや公民館利用団体との交流から相互に理解し学び合う。	山野邊千鶴子（公民館利用団体「影絵ゆきまど」会員） 下田みゆき（音楽講師） 小幡道代（公民館利用団体「にしき」友の会代表）他
2	夏休み小学生親子講座 落合川の観察会と壁面水族館づくり	8月20日（土曜日） 8月21日（日曜日） 9月4日（日曜日） 10時から12時 全3回	延べ36人	東久留米・川クラブのメンバーからガイドを受けながら、親子で南沢湧水を見学後、落合川で水棲生物の採集を行い、身近な小川に生息する川魚など水棲生物について学習した。 リニューアルオープンした田無公民館のロビー壁面に、採集した水棲生物などの拡大写真等を川クラブメンバーのガイドを受けながら親子で切り抜いて飾り壁面水族館を製作した。 多摩六都科学館の学芸員を講師に招き、川の環境と魚の生態について学習した。	東久留米・川クラブ 北村沙知子（多摩六都科学館学芸員）
3	子育て中の人のための講座（保育付き） 家族みんなの食育講座	5月24日から 10月4日 火曜日 10時から11時45分 全13回	延べ126人	・食についての栄養学を、しっかり学べるように、元中学校の家庭科の講師から基本の指導を受け、望ましい食習慣を身につけるきっかけとなった。 ・乳幼児から高齢者まで、家族全員の食生活の基礎から順に振り返ることで、自分や孫たちの食生活も含めて学ぶことができた。孫育て世代の参加もあり、多世代で食について学ぶことができた。 ・保育室に子どもを預けた方に対しては、公民館保育室の意識や取り組みについて説明した。講座最終回では子どもの成長の様子を確認でき、公民館保育について理解を深めることができた。	中村美穂（管理栄養士、フードコーディネーター、食育インストラクター） 吉田朋子（管理栄養士、エコクッキングナビゲーター、キッズキッチンインストラクター） 本田紀子（管理栄養士、元中学校教員、調理師養成学校講師）

NO	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
4	女性のための講座（保育付き） 自分らしさを大切に楽しく子育て・自分育ち	10月18日から12月20日 火曜日 10時から11時45分 全10回	延べ123人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性史を学び、意識下の男尊女卑観・男女不平等の歴史から、人権意識を持って生きることの大切さを学ぶ。対象を子育て期の市民に限定せず、さらに対象を広げた公開講座を行うことで、世代を超えて市民が共に学び、交流する視点を持つ機会とする。</li> <li>・発達障害の有無にかかわらず、子どもの自立に繋がる子育て・自分育ちについて考える内容とする。</li> <li>・大人と子どもの目線・視野の違いを体感し、子ども格差について学ぶ。</li> <li>・公民館保育室の子どもたちが、異年齢の子どもや他者とのかかわりの中で、互いに成長する場とする。</li> </ul>	<p>江刺昭子（女性史研究者、ノンフィクション作家。『樺美智子、安保闘争に斃れるれた東大生』など著書多数。）</p> <p>堀内祐子（自閉症スペクトラム支援士、傾聴心理士。著書『発達障害のことハッピーに暮らすヒント』など）</p> <p>堀内謙人（小学校5年生でアスペルガー、ADHD、中学校2年生でLDの診断を受ける）</p> <p>西村説子（NPO法人CAPセンターJAPAN就学前プログラムトレーナー、NPO法人埼玉子どもを虐待から守る会理事）</p>
5	現代的課題を考える講座 地域から“孤立”をなくすヒント5 ～ひきこもり当事者と家族の対話の可能性をひらく～	9月18日 10月2日 10月16日 日曜日 14時から16時 全3回	延べ87人	<p>ひきこもりの問題の解決策を模索するために、下記の①～③の内容について参加者と共に学び合い、語り合った。</p> <p>①ひきこもり当事者の父親が遺した日記から「語られなかった親子の対話」をひも解く</p> <p>②否定や説教ではなく「本音で語りあう親子の対話」を疑似体験し関係改善を模索する。</p> <p>③「安心・安全で尊重のある対話」をオープンダイアログ」の手法から体験的に学ぶ。</p>	<p>森田智子（NHKディレクター、E T V特集「空蟬の家」（2021）等担当、不登校経験者）</p> <p>ぼそっと池井多（「ひきこもり親子クロストーク」主宰、ひきこもり経験者）</p> <p>ドラマキャスト</p> <p>鈴木 剛（精神保健福祉士、社会福祉士、「オンリーワンクルー」主宰）</p> <p>ファシリテーター</p>
6	防災講座 避難所運営ノウハウをみんなで共有しよう ～自分の命は自分で守り助けられる人から助ける人に～	11月12日・19日・26日 土曜日 全3回	延べ45人	<p>小学校の避難所運営について対策を検討するために、防災の予備知識を学び、地域の特性を話し合い、避難所運営協議会の方々の協力を得ながら、地域課題の解決を図るものとする。</p>	<p>岩永正雄：一般財団法人 防災教育推進協会 理事</p>

NO	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
7	趣味の講座 第1弾 ウクライナのエッグアート「ピサンキ」を作ろう	令和5年2月10日 2月17日 2月24日 金曜日 14時から16時30分 全3回	延べ35人	ウクライナに伝わるろうけつ染めのエッグアート「ピサンキ」を作成し、ピサンキに寄せるウクライナの人々の思いと技術を学ぶ。また、創作活動を通じて異なる文化に触れることで、日本との文化の違いや共通点などを学び、多文化に興味を持つきっかけとする。	飯野夏実（ピサンキ作家、陶芸家）
8	趣味の講座 第2弾 ウクライナ刺繍のピンクッションを作ろう	3月10日 3月17日 金曜日 14時から16時30分 全2回	延べ35人	創作活動を通じて多文化に触れることで、日本との文化の違いや共通点などを学び、多文化に興味を持つきっかけとする。 本講座は趣味の講座第2弾として、伝統的なウクライナ刺繍を生かしたピンクッションを作成する。	千葉 恵（刺繍・洋裁・パターンメイキング教室「まにあ〜な」講師）
9	第14回 田無公民館まつり	5月29日 日曜日 10時から16時30分	延べ333人	田無公民館を中心に活動しているサークルの活動成果を発表する場、地域住民と公民館利用者の交流の場を目的に、実行委員会形式で開催。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止で中止、その後、耐震補強等改修工事で1年間閉館となったため、3年ぶりの開催となる。	

NO	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
10	田無つながるプロジェクト	6月19日 7月10日 7月31日 日曜日 10時から12時 全3回	延べ34人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つなぐ3要素「市民と市民がつながる」「団体と団体がつながる」「地域を超えて、市民、団体がつながる」ことを「成功例」ではなく「プロセスを重視した学び」とした。</li> <li>・「リニューアルした田無公民館ロビーからスタート」し「2階、3階の学習の場と機会へ」から、「西東京市の地域へ」と広がる展開を考えた。</li> <li>・「討議・対話」と「楽しい空間づくり」から生み出される活動を学び、参加者から出されたアイデアをヒントに、田無公民館ロビーに、親子で楽しめるキッズコーナーや、外の歩道を歩く人の目にも留まるショーウインドウ的ギャラリー田無公民館を、市民ボランティアの協力も得ながら職員の手作りで設置したり、ロビーで行った事業から、壁面水族館を製作したり、田無公民館サークル間での学びのつながりを形にし「対話と笑顔のある公民館」を見える化した</li> </ul>	<p>小笠原東生(日本女子大学非常勤講師) 齋藤尚久(杉並区社会教育主事、立正大学非常勤講師) 村上英己(全国公民館連合会事務局次長) 朝枝晴美(すぎなみ大人塾連) 野嶋京登(浜松市富塚協働センター職員) 山下洋輔(柏まちなかカレッジ学長) 全国で活躍中の公民館や市民団体(第2回・第3回オンライン中継からの交流)</p>
11	7月と11月は、田無公民館サークル見学月間です	7月1日(金曜日)から7月31日(日曜日) 11月1日(火曜日)から11月30日(水曜日)	参加団体 延べ65団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員募集中の田無公民館利用団体で該当月に活動のため部屋を予約済みの団体の活動日時に、見学希望の一般市民が事前に連絡した上で見学し、活動を体験した。</li> <li>・参加団体は事前に全体で集まり自己紹介や団体の活動内容の紹介、コロナによる活動への影響や耐震改修工事閉館中の活動をどうしていたのかなど、現状やお困りごとなどを話し合い、共有した。</li> <li>・見学月間の翌月には報告書や見学者の感想等を公民館へ提出。また、全参加団体が集まって報告会を行い、団体の感想や意見、見学者の声、その後入会につながったかなどを全体で共有した。</li> </ul>	

NO	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
12	曜日別活動サークル1日ロビー 見学体験会	8月29日（月曜日）から 令和5年2月26日（日曜日） 全7回	32団体	会員募集中の田無公民館登録利用団体で、開催日該当曜日に活動する団体が、田無公民館ロビーにて活動報告や発表を行い、興味のある市民が事前申込制で見学する。見学前後に、実際の活動日に見学できるか、全く初めてでも参加できるかなど、サークルに相談できる体験相談コーナーもロビーに設ける。団体打合せ・報告会を行い、実施の目的、手順、団体の感想意見、見学者の声等を全体で共有する。	
13	SDGs ロビーフェスタ田無	3月12日 日曜日 10時から16時	延べ83人	田無公民館ロビーにて、小学生、中学生、高校生、大学生、親子、大人たちが気軽に参加でき、SDGsの中の関心のあるテーマごとにテーブルを囲んで語りあう場をつくる。 2030年まで継続していくことで、目標へ向けて考え、アイデアを出し合い、少しでも行動にうつすきっかけとする。	久藤啓子（親子でエコ花瓶づくり講師/MOA美術文化インストラクター） 下村篤史（SDGs落語出演/噺家）
14	ギャラリー田無公民館	6月下旬から令和5年 3月下旬	5団体	田無公民館きらっと側の広いガラス窓面をショーウインドウ化し「ギャラリー田無公民館」として開設。パネル3枚分の展示スペースで、外を通る人が展示作品に気づき鑑賞しながら田無公民館へ入って来られる導線とする。会員募集中の田無公民館利用団体が交代で約1か月間、展示する。団体名と活動内容を明示し、新規会員獲得にもつなげる。	